

幼子とともに

2025 年度 10月号

はじめに

厳しい暑さもおさまり、少しずつ秋らしい季節となりました。子どもたちの中には、日中、夜間の気温の差によって、体調管理が難しいお子様もいるかもしれません。子どもたちの体調の変化に気をつけながら、見守って参りたいと思います。子どもたちは、毎日、元気に、自由に、遊んでいます。トンボやバッタを追いかける姿もありますし、土や砂で山や川を作る姿もみられます。また、ルールを理解しながらみんなで遊ぶ場面もみられました。子どもたちが、今日、どこで何を楽しむかは自由ですから、そのままの姿を受け入れ、一緒に楽しむ一カ月でありたいと思っています。

くつさがし！

ある二人の園児が、園長を外に出させないために、園長の靴を確保し、そのまま、隠しにいてしまいました。子どものすることですから、すぐに見つかるだろうと、高を括っていました。しばらくすると、隠したから、探してみて！と言われ、足を洗い、砂を落として、裸足で探し回りました。できるだけ、子どもの目線にたって、あっちをさがし、こっちをさがし・・・けれど、全然、見つからないのです(；▽；)

ようやく、一人の園児がヒントを一つくれました。「職員室！」と。ヒントを手掛かりにして、職員室をくまなく探しました。あっちをさがし、こっちをさがし・・・やっぱり、全然、見つからないのです(；▽；)

田口先生が、「そういえば・・・セロハンテープ使っていた！」と最高のヒントくださいました。テーブルには、使った形跡のあるテープがありました。不自然なところに段ボールを発見。段ボールの口は、嚴重に、かつ、わからない仕方でテープ止めされていました。ここしかない、という気持ちで開けると、あの赤い靴が綺麗に梱包されていました。思わず・・・「天才や！」とほめてしまいました。子どもは、時に、突拍子もないことをしますが、子どもなりに頭をフル回転させて、遊びを創り出すことができるのですね。

地域社会との接点

八月中旬、中央市民会館前で開催された「平和を願う灯ろうのタベ」に参加しました。目的は、子どもたちが作成した灯ろう（階段部分展示）を見に行くことでありました（上写真）。プライバシー保護の観点から、名前は書かれていませんでしたが、この灯ろうは、誰が作ったのかなぁと想像を膨らませながら、閲覧することができました。展示スタッフの方や市民団体の方々が、越谷幼稚園の子どもたちは、素敵な絵が描けるんですねと声を掛けてくださいました。階段を降りてくるお客さんの中にも、灯ろうを、しっかりと見てくださる方もいました。たまたま越谷市長とも出会い、素敵な灯ろうをありがとうございましたと、感謝の言葉もいただきました。越谷幼稚園の子どもたちが、この地域社会としっかりとつながっているという思いにさせられた次第であります。

今年 10 月 1 日から 11 月 16 日にかけて「越谷技博」というものが開催されるそうです。その主催者の関係者と、最近、つながりを頂く機会が与えられました。このイベントは、越谷市内で、様々なタレントをもった職人や講師などを集め、会場や日程を分けて、展示をしたり、体験する場を提供することを目的としていま



す。先日、そのガイドブックを頂きましたが、そこには、本当に沢山の職人や講師が登録していました。こんなにも沢山の賜物が、この街にはあるのだと、実感させられました。

さて、越谷幼稚園の園庭には、新しい植物が植えられました。それが「とげのないバラ」です。教会員の中で、「バラ」に詳しい方がいまして、その方の協力のもと、「バラ」を植えました。子どもたちも関心をもって、水をあげてくれました。どうやったらバラが育つのか、どういう花が咲くのか、優しく教えてもらう場面も見られました。これも「社会とのつながり」です。

子どもたちが、沢山の経験を積み重ね、心が刺激され、また一つ成長するためには、このような地域社会（教会を含めて）との繋がりが、今後とても重要であると思われた場面でありました。幼稚園は、これからも、こどもたちの成長のために、地域や教会と深くつながり、一番よいものを、こどものために提供できればと考えています。

えんちょうなんてだいきらい！！

子どもたちは、何の脈略もないままに、突然「えんちょうなんてだいきらい！！」と言ってくる場合があります。そういう場合、表情をみると、大体、にやけていることが多いと感じています。なんだか試されているような気持ちにもなるのですが、そういう場合は、必ず、こう返すようにしています。「あなたが、わたしを嫌いでも、わたしはあなたを嫌いにならないからね」と。これは、本心からそう言っています。すると、子どもたちは、ニコニコして去っていきます。どんな自分であっても、大事に思ってくれる人がいる。そういう安心感が、子どもの心の育ちによい影響を与えることになるわけです。

そもそも、子どもたちは、こんな園長を受け入れ、一緒に遊んでくれます。要するに、園長自身が、子どもから愛されている、受け入れられている、という喜びを頂いているわけです。そういう子どもの愛に包まれて、愛をお返しするような気持ちで、子どもたちと接していければと願っています。

園 長 須賀 工

栄養士だより 《10月10日は目の愛護デーです。》

日暮れが早くなり、木々が少しずつ色づいてきました。過ごしやすく食欲が増してくるこの季節には、秋の味覚を味わいながら、たくさん遊んでほしいですね。運動会も間近です。丈夫な身体作りにも良い時期の10月です。

さて、目に良い栄養素ってどんな食品でしょうか？2つの「10」を横に倒すと、眉と目の形に見えることから、毎年10月10日は「目の愛護デー」とされています。目が最もよく育つ時期の子どもたちが、元気で健康な目をために、きちんと栄養を摂ることが大切です。

- ・アントシアニン 疲れ目や視力低下の予防（ブルーベリー、ナス、ぶどう）
- ・ビタミンA 目の粘膜保護、網膜の健康維持（人参、かぼちゃ、レバー）
- ・ビタミンC 水晶体の酸化防止作用（イチゴ、じゃがいも、さつまいも）
- ・アスタキサンチン 目のピント調節機能の効果（鮭、カニ、いくら）

頭の片隅に置いてくださり、日々の食事作りにお役立てください。 いけだかずみ